事業番号	09 05 09	事業改善シート(25年度実施事業分)	□予算要	東求	口当初予算第	客 □補正予算案 ■ 点検	
事 業 名					部局	農政部	
	R B N + N N → N → T + N → T + L 生 左 盆 】 / T + L 生 左 盆 】 / T + L + L + L + L + L + L + L + L + L +			担 担 当	課∙室	農地整備課	
総合5か年 計画	プロジェクト	3-2-5 環境・エネルギー自立地域創造プロジェクト	課		E-mail	nochi@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業	実施				
	旭州ツ飛行的成用	1 2 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産			実施期間	S25 ~	

事業の概要

1 事業の	陇安							
目指す姿	・農業水利施設の計画的な補修・更新により、農産物の安定生産と品質確保を図るとともに、農村における地域資源の有効活用、土地改良施設の維持管理費の軽減を目指す。 「第2期長野県食と農業農村振興計画」における期間内整備目標(H25~H29) 農業用水の安定供給及び排水機能が確保される農地面積 20,000ha 農業用水を活用した小水力発電施設の新設 10箇所							
現状	・県内の農業水利施設は延長約15千km(受益面積A=5ha以上)に及び、安定的な農業生産に欠かせない社会資本となっている。 ・施設の多くは昭和20~40年代に整備され、近年、老朽化に伴う機能低下が顕著となっており、補修、更新の時期を迎えている。 ・施設を管理する土地改良区等は、農地や組合員の減少などにより、経営基盤の脆弱化が進んでいる。							
県が関与 する理由	県でなければ実施不可(その 県民との協働による実施: 困難	集でなければ実施不可(その他)						
	① 成果目標(H25)							
	・農業用水の安定供給及び排水機能が確保される農地面積:2,000ha ・干ばつ被害の軽減面積:181ha							
	②事業内容			(単位:千円) H25 H26				
	項目	実施方法	H25事業実績	(当初)	(決算)	(当初)		
	県営かんがい排水事業		曲光田田北東ないが はみ 東英 0.4mc	1,646,580		2,617,329		
+ *** + 	" (H24繰越分)	直接	農業用用排水施設の補修、補強、更新 34地区 機能診断、機能保全計画の策定 5地区 新エネルギー発電施設整備 4地区		1,734,253			
事業内容	〃(補正分)		利・イソアイ 光 电心 以 定 州 4地 と		5,630			

	Z	<u> </u>	分(単位:千円)	单位:千円) 23年度 24年度		25年度	26年度	
			前年度繰越	775,491	573,853	1,793,581	783,697	
	予算層額		当初予算	1,765,105	1,749,407	1,646,580	2,617,329	
事			補正予算	-135,552	1,243,091	-23,373		
業			合計(A)	2,405,044	3,566,351	3,416,788	3,401,026	
*			国庫支出金	1,100,302	1,701,067	1,686,742	1,595,459	
⊐	AO.)	県 債	572,000	810,000	749,000	786,000	
_	財源		その他(分担金・負担金)	605,726	825,689	766,400	780,065	
ス			一般財源	127,016	229,595	214,646	239,502	
۲	決	算 額(B)		1,831,171	1,771,364	2,615,978		
	概	算	職員数(人)	20.40	23.00	24.80	24.80	
	人件費		概算人件費 (C)	1			-	
	概算	算事業費(B(A)+C)		1,831,171	1,771,364	2,615,978	3,401,026	

成果目標の達成状況							
項目	H24末		H26				
垻目	(実績)	目標 成果		達成状況	目標		
農業用水の安定供給及び排水 機能が確保される農地面積	4, 547ha	2,000ha	3, 174ha	達成	_		
干ばつ被害の軽減面積	_	181ha	258ha	達成	_		
基幹的農業水利施設の「機能 保全計画」策定延長					11km		
基幹的農業水利施設の更新延 長					15km		
小水力発電施設の整備箇所数					3箇所		

1,646,580

2,615,978

2,617,329

合計

目標に対 する成果 の状況

・計画的な事業執行により43地区を実施(うち7地区完了)し、成果目標を達成した。

2 今後の事業の方向性

今後、事業 をどのよう にしていき たいか

□ 事業を実施しない □ 事業を見直して実施 ■ 事業を現行どおり実施

・平成26年度は、平成25年度補正予算と平成26年度当初予算を活用した35地区の実施を計画している。 農作物の安定生産と品質確保を図るため、引き続き老朽化した基幹的農業水利施設の計画的な補修、更新を行っていく。